

進捗状況報告

② サクラの育成方針

令和8年8月22日
佐伯区維持管理課

概要

概要

海老山公園は**桜の名所**である。

近年、佐伯区と廿日市市が連携して、ポスターやホームページなどにより情報発信を行い、桜の名所としての魅力向上を図っている。

しかしながら、海老山公園が整備後50年以上経過していることもあり、**サクラの老木化が課題**となっている。

そこで、海老山公園再整備事業において、**サクラの更新や移植等**により、サクラの健全化及び桜の名所としての更なる魅力向上を図る。



方針検討

サクラの樹勢調査

- 1 調査対象
189本
- 2 調査時期
令和8年2月中旬から
4月中旬にかけて調査を実施
- 3 調査内容
現況及び健全度を調査

樹勢調査の結果

再整備基本設計

- 1 駐車場、複合施設、多目的広場のバリアフリー化
- 2 既存の桜を極力活かした園路や遊具の配置
- 3 複合施設の間取り等の検討

など

再整備による影響

踏まえる

「サクラの育成方針」

保全するサクラについては、土壌改良やせん定などにより樹勢回復を図るとともに、工事の影響を受ける範囲については、移植や新植により桜の名所としての魅力向上を図る。

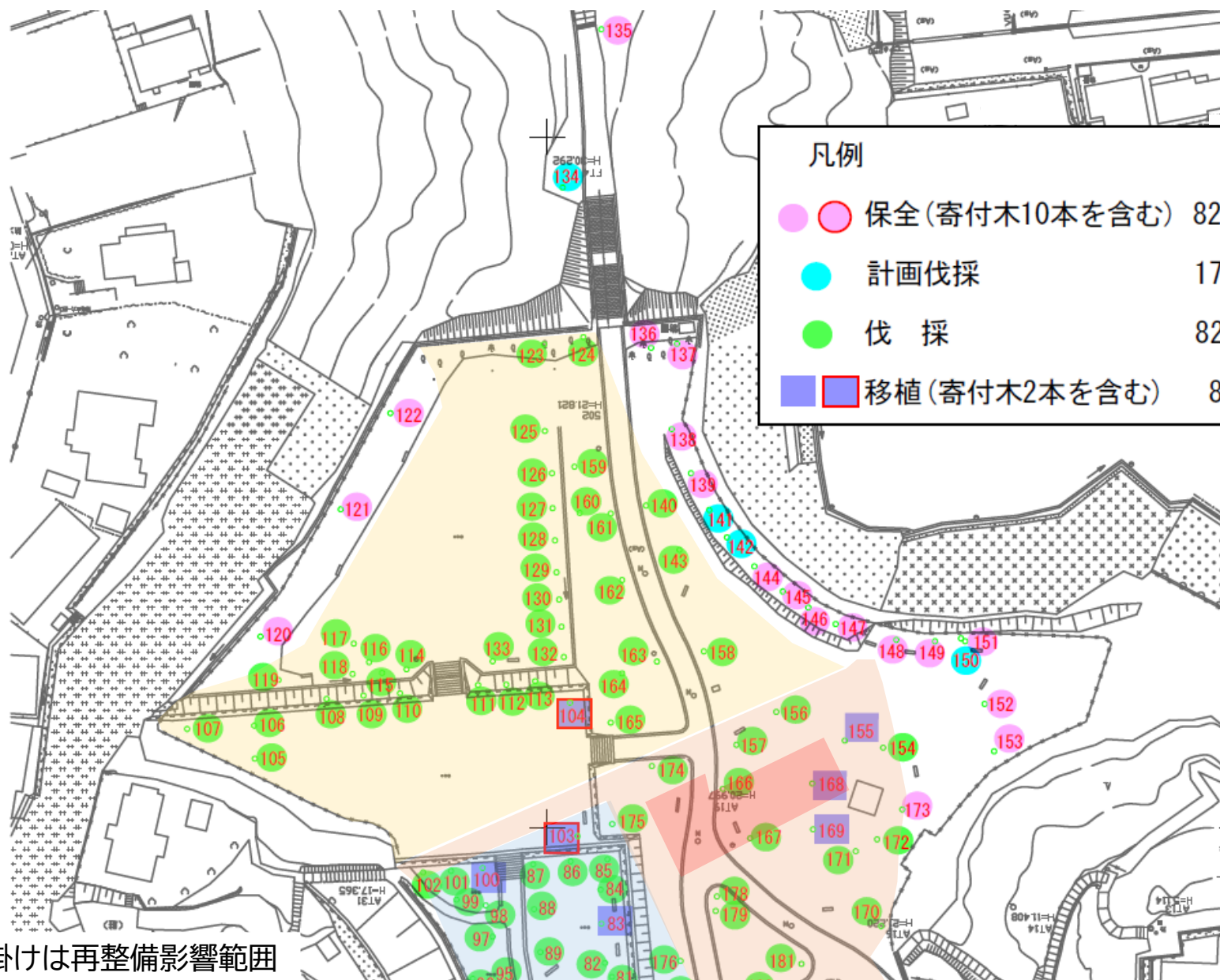
合わせて、公園内の見通しの悪さや薄暗い状態も解消する。

サクラの育成方針

方針	本数	凡例	対応方法
保 全	82本	● ○	再整備による影響がないため、適切な維持管理により健全な育成を図る。 (うち寄附樹木10本)
計画伐採	17本	●	植栽密度の調整や被圧の解消など、周辺樹木の健全化を目的として計画的に伐採する。 また、樹勢回復や健全化が見込めない樹木についても伐採する。
伐 採	82本	●	再整備の影響範囲にあり、工事において支障となるため、やむを得ず伐採する。
移 植	8本	■ □	寄附樹木であることや移植の難易度を踏まえ、園内の工事に影響のない場所に移植する。 (うち寄附樹木2本)
合 計	189本	※赤枠は寄附樹木	

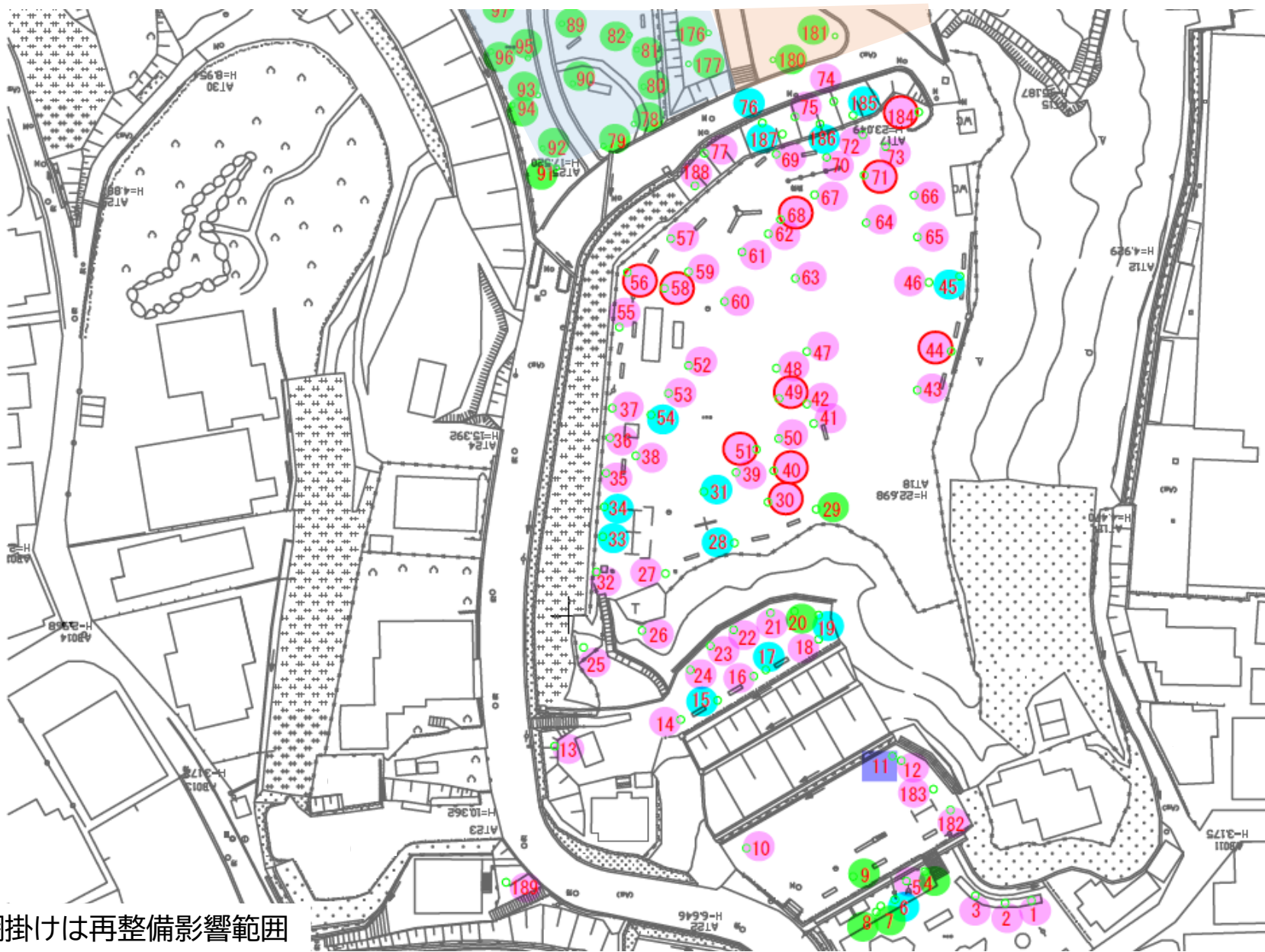
※新植は、20本を予定
(このため、桜は189本→110本となる見込み。) 4

サクラの現況図(1/2)



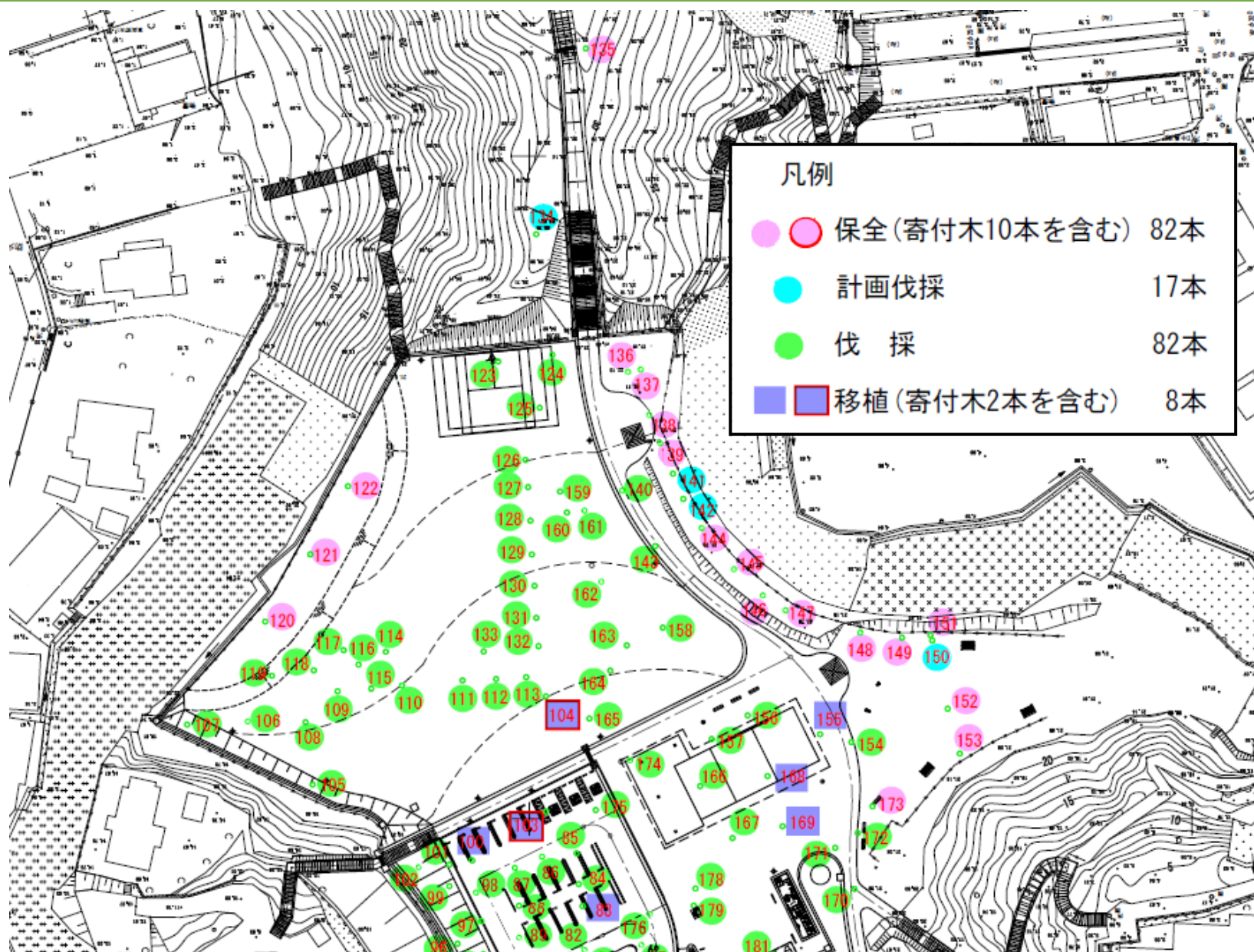
※網掛けは再整備影響範囲

サクラの現況図(2/2)



※網掛けは再整備影響範囲

再整備後のサクラ位置図(1/2)



再整備後のサクラ位置図(2/2)

